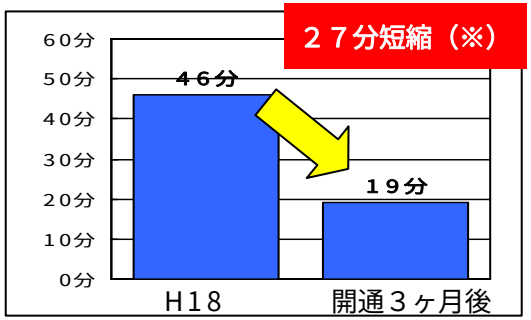
上り線のトンネル開通により通過時間が大幅短縮

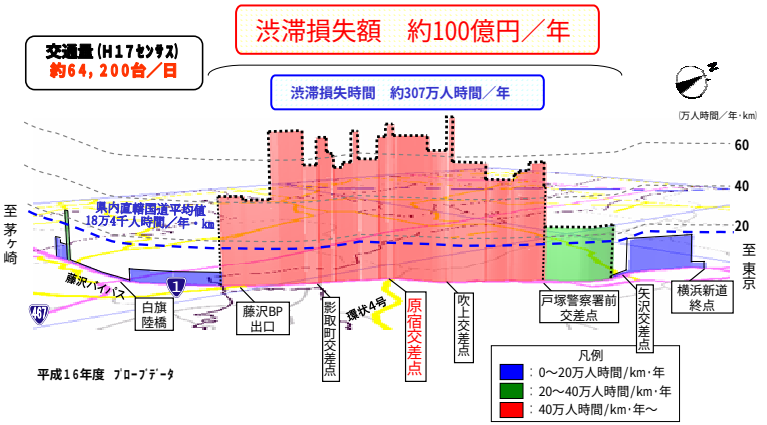
神奈川県横浜市戸塚区

国道1号の上り線において、トンネル開通後、藤沢から原宿交差点までの約5km間の最大通過時間が約19分となり、開通前（H18）と比べると、約27分の短縮。



神奈川県内渋滞ワースト1解消のため、交差点の立体化を実施。
早期に整備効果を発揮させるため、渋滞のより激しい上り線を平成21年4月4日に開通、下り線を平成22年に完成予定。

上り線の通過時間が27分短縮

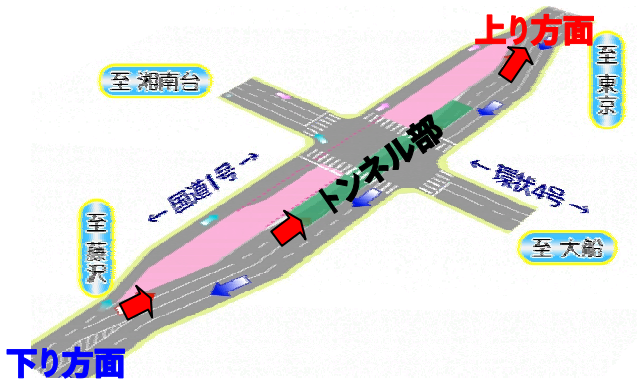


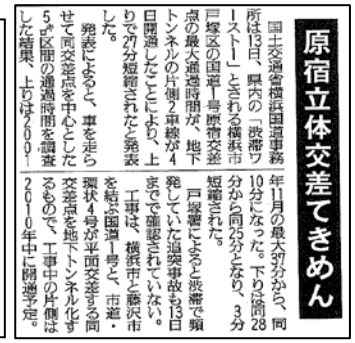
【渋滞損失額（平成１６年度　プローブデータ）】

出典：H22.4.4→
読売新聞

原宿立体交差ようやく
片側きょう開通
トンネル 全面は来年
大渋滞緩和 計画から21年

出典：H22.4.15
読売新聞 ↓




原宿立体交差できめん

国土交通省横浜国道事務所は13日、県内の「渋滞ワースト1」とされる横浜市戸塚区の国道1号原宿交差点の最大通過時間が、地下トンネルの片側2車線が4日開通したことにより、上りで27分短縮されたと発表した。

発表によると、車を走らせて同交差点を中心とした5.5km区間の通過時間を調査した結果、上りは9:00～10:00年11月の最大37分から、同28分から同25分となり、3分短縮された。

戸塚署によると渋滞で頻発していた追突事故も13日までで確認されていない。

工事は、横浜市と藤沢市を結ぶ国道1号と、市道・環状4号が平面交差する同交差点を地下トンネル化するもので、工事中の片側は2010年中に開通予定。